

令和5年度 第1回 学校運営協議会

令和5年4月21日(金)

○ 日程説明（於：会議室） 14：40～14：45

○ 授業参観 14：45～14：55

※6校時 14:05～14:55

学 級	教 科	指 導 者	場 所
全学級	総 合	NIE 講座 (Newspaper in Education) 講師：矢澤和宏さん	体育館

（於：会議室） 15：00～16：00

開催要件確認

- 1 校長あいさつ
- 2 委員任命書・学校支援コーディネーター委嘱書交付
- 3 自己紹介
- 4 会長の選出・副会長の指名
- 5 議長の選出
- 6 前回議事録（R4年度自己評価）確認
- 7 熟 議
 - (1) 本年度の学校経営構想・教育課程について（学校経営書ほか）
 - (2) 授業参観を通して生徒の様子
 - (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書
(案：春野 PR 活動について)

8 連 絡

・今後の予定

第2回 6月27日(火) 14：30～

第3回 11月28日(火) 14：30～

第4回 2月16日(金) 15：00～

・さくら連絡網への登録について

・部活動参観（自由参観）16：00～

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(春野中)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校長から、本年度より新しく作成した学校教育目標について丁寧な説明を受け、各委員の意見交換を経て承認した。
- 教育基本方針では、「確かな学力」を身につけさせるための授業の工夫、「豊かな感性」を育む学校行事や生徒指導、「健やかな心身」を鍛えるために生活習慣の修得や道徳教育の充実など、学校教育目標の具現化の手だてがきめ細かく考えられていたが、これについても、各委員がさまざまな視点から意見を述べ反映させることで、より練られたものにすることができた。
- 基本方針に基づいての学校評価アンケート調査などをもとに、生徒や保護者、教職員の意見等をよく理解したうえで熟議できた。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 学校行事や日々の教育活動に対し、地域や家庭が協力できることについて話し合った。それを実践化できるよう支学校援コーディネーターが企画立案した。活動報告によってそれぞれの活動が充実していたことを実感した。
- コロナ禍で制限のある中であるが、学校行事も少しずつ日常を取り戻しつつある。しかし、以前に比べると、学校運営協議会としての活動はまだまだ少ない。ただ、できる活動を通して、熟議を円滑にすすめることができた。
- 年々生徒数が減少し、部活動や行事などは少人数での活動を余儀なくされている。他校や小学校等との連携による活動が今後増えてくると予想される中、いろいろな対策を講じてきたことについて熟議した。今後も少子化の中の学校運営は大変なことが予想されるが、子どもが少ない反面、目が行き届く環境でもあるので、より一層地域や他校と連携することについて、運営協議会を通じ、地域等呼びかけていきたい。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- コロナ禍で、学校行事が制限を受けているが、学校側の工夫や努力で乗り越えてきている。小規模校のためか、中学生が少し積極性に欠けるという心配はあるが、小規模という特性を生かした教育活動をさらに充実できるよう、協議会として助言していきたい。
- 現在、学校と地域の人々との接点が少なくなっている。いろいろな立場の委員で話し合ったことが、学校教育活動に生かされ協働できるようにしたい。
- コロナの後のこれからは、今までの生活環境に戻れないかもしれない。また、時代の変化も急激であるが、これからも春野を愛し、春野の文化を大切にしたい取組を継続的に実施していきたい。
- 私たちの活動を家庭や地域の方があまり知らないと思う。いろいろな協力を得るためにも、家庭や地域に発信していきたい。

令和5年度 浜松市立春野中学校 グランドデザイン

「はままつの人づくり」

- 未来創造への人づくり ・自分らしさを大切にする子供 ・夢と希望を持ち続ける子供 ・これからの社会を生き抜くための資質や能力を育む子供
- 市民協働による人づくり ・キャリア教育を核とした人づくりの推進



<校区の目指す子供像>

春野を誇りとし、夢や希望に向けて、粘り強く努力する子



【学校教育目標】

春野を誇りとし、自他を認め、成長する生徒
～切磋琢磨～

生徒の元気を地域に伝える「チーム春野」…教職員の元気な姿

確かな学力(知)

- 個別最適な学び
 - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
 - ・指導の個別化、学習の個性化
- 協働的な学び
 - ・多様な他者との学び合い
 - ・個に応じた指導の充実
(生徒個々の興味・関心等を踏まえた指導)
- 指導の工夫(授業改善)
 - ・基礎・基本の定着
 - ・興味・関心を高める課題提示
 - ・学習指導要領に基づく、各教科・指導の工夫と評価の研究
- ※小規模校の特色を生かした教育活動の展開
- 家庭学習や学習相談の充実
 - ・ICT、NIE教育の積極的活用

豊かな感性(徳)

- 道徳教育の充実
 - ・他者理解、自己理解を深める基盤となる道徳性の育成
- 学校行事等への取組
 - ・修学旅行、秋輝祭、黎明祭、持久走大会、スキー教室
- 生徒指導体制の確立
 - ・生徒理解を踏まえた温かな生徒指導(事故0・非行0・いじめ0)
 - ・いじめを許さない学校体制
- 教育相談体制の充実
 - ・定例の三者面談、随時相談の実施
 - ・生徒への積極的な声掛け
- 地域活動への参加
 - ・地域行事やボランティア活動への参加
 - ・地域の人的、物的資源の活用

健やかな心身(体)

- 規則正しい生活の推進
 - ・早寝、早起き、朝食摂取
 - ・あいさつの励行
 - ・適切なメディアの活用
- 健康な身体づくり
 - ・不登校、欠席生徒への対応
 - ・新しい生活様式を踏まえた、新型コロナウイルス感染症対策
 - ・要治療生徒0(疾病予防の徹底)
- 命を守る教育
 - ・命の講話(命の日)
 - ・SNS講座
 - ・薬学講座、思春期教室等
- 危機管理体制の充実
 - ・危機管理マニュアルの充実
 - ・防災訓練の定期的な実施(年間5回以上の実施)

地域に元気を運ぶ春中生…地域で活躍する生徒の姿

《キャリア教育の推進(キャリアパスポートの効果的な活用)》

- 人間関係形成・社会形成能力(かかわる力) △自己理解・自己管理能力(見つめる力)
- 課題対応能力(挑戦する力) ◇キャリアプランニング能力(つなげる力)

生徒の実態

- 明るく素直で、誰とも分け隔てなく接することができる。
- 礼儀正しく、規律ある行動を取ることができる。
- 落ち着いた態度でまじめに学習に取り組むことができる。
- 与えられた課題を仲間と協力し、解決することができる。

- 自発的な行動や、自分の思いを素直に表現することが苦手である。
※他者との関係を上手に築けない
- 自ら計画を立て、粘り強く取り組むことが苦手である。
- 基礎的な学力の定着が不十分なため、考えを深めるまでに至らない。

日 課 表

出席 確認 連絡	8:00～ 8:15				
1校時	8:15～ 9:05				
2校時	9:15～10:05				
3校時	10:15～11:05				
4校時	11:15～12:05				
給 食	12:05～12:30				
昼休み	12:30～13:00				
5校時	13:05～13:55				
6校時	14:05～14:55				
6時間 清掃なし (月・金)		6時間 清掃あり (火・木)		5時間 (水)	
SHR	15:00～15:05	清掃	15:05～15:15	SHR	14:00～14:05
活動	15:05～15:30	SHR	15:20～15:30	活動	14:05～14:30
SB1 下校 部活動	15:35	SB1 下校 部活動	15:35	下校	14:35
【清 掃】火・木 【部活動】火・木・金			【部活動日の完全下校時刻 (S B 2 時刻)】 4 月・5 月・・・17:30 6 月～9 月・・・17:45 10 月～3 月・・・16:50		

(様式1)

令和5年4月25日

浜松市立春野中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 渡辺 新五 様

浜松市立春野中学校運営協議会
会長 ○○ ○○

夢育やらまいか事業に対する意見書

令和5年4月21日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

○春野町の人口減少と、それに伴う子どもの数の減少に伴い、生徒が大勢の前で自己表現する機会が少なくなっている。彼らの自己肯定感の醸成や内面の発達の促進、また社会への適応等を考えると、自己表現の場の担保は不可欠である。また、生徒が春野町に誇りをもち、今後もこの地に根を下ろし生きていく意識を高めることも、ふるさとの発展を考える上で重要である。学校は、この課題の解決に積極的に取り組むべきである。

⇒春野町の魅力について深く知れるよう、地域人材を招いての出前講座を開催する。

⇒学校外で学習成果等を発表する場を設定する。令和5年度は、浜松駅前にて、お茶をはじめとした春野町の特産物をPRする活動を行いたい。